

## 『 日常実践に役立つ研修センターを目指して 』

新年度を迎え、後志管内の教育関係者の皆様におかれましては、新たな体制の中でお仕事に精励されていることとご推察いたします。後志教育研修センターの研修講座は、北海道教育庁後志教育局をはじめ、各市町村教育委員会、各教育関係機関や研究団体のご支援とご協力により、本年度の開催の体制を整えることができました。

当センターは昭和50年に創立し、後志管内20市町村が管内の教職員、社会教育指導者等の資質・能力の向上を目指した研修講座事業等を協働で実施することを目的として設置されたものであります。

本年度の研修事業は、子どもたちに生きる力を育成するため、『日常実践に役立つ研修センター』を標榜し、学校現場との連携を一層密にした授業改善を促す研修講座となるよう策定しました。全ての講座の中で、新学習指導要領の改訂の大きなテーマである「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、習得した知識を使って「何ができるようになるか」「どのように問題解決を成し遂げるか」を目指した、「子どもの学びの質を高める」ことを重視した講座内容となるよう努めてまいります。

さて、本年度の研修講座に向けて開催された1月末の講師団会議では、『**教学半**』と『**子どもの心の扉は内側に鍵がある**』という2つのことを中心に挨拶をしました。講師陣の真剣な眼差しがとても印象的で、これは新年度の研修講座も質の高い内容が期待できると実感しました。これは、講師推薦から決定の過程においては、講師の先生方のほとんどが第一次依頼で快諾をしてくれたことから伺えます。

本年度、当センターの研修講座の特徴を幾つか挙げてみます。

### 1. 「自分にあった研修講座の選択」

○学級経営を基礎と応用の2つに分け、初任者段階層とミドルリーダ層がそれぞれ受講しやすいようにしました。

また、外国語・外国語活動を初級と中級に分け、教職員個々の力量に合わせ選択できるようにしました。

### 2. 「一人ひとりが充実感を味わえる研修講座」

○研修内容のコマでは、演習を取り入れた参加型の研修にしました。

また、ワークショップ型研究協議を取り入れ、少人数での充実した交流を図るよう工夫しました。

### 3. 「気軽に参加できる研修講座」

○公開講義や公開授業を増加し、全体の受講者人数を増やすよう努めていきます。

具体的には昨年度の受講率49.7%に対し、50%を超える目標を掲げていきます。

最後になりますが、講師陣の皆様には、今日的な課題を解決すべく、日常の授業実践に生かしていくことのできる事例を周到に準備していただいたことに深く感謝申し上げます。センター職員一同、今年度もより多くの教育関係者の皆様が受講されるのをお待ちしております。

2019年4月

後志教育研修センター  
所長 長谷川 誠